



2020年度前期 東京バプテスト神学校 連続公開講座

信徒のための説教Ⅱ

於：茗荷谷キリスト教会（201教室） 毎週金曜日 18:30～20:30

東京バプテスト神学校では2017年後期に「信徒のための説教」を開講し、48名の方々と共に、十字架・復活・教会についての信徒説教の在り方を学びました。今回講座はその続編で、第一コリント12章12～31節の「一つの体、多くの部分」から教会のあるべき姿を、第一コリント13章1～13節から、「信仰・希望・愛」について学びます。講師は前回と同じ安藤榮二先生と内藤淳一郎先生です。教会学校教師や教会役員の方はぜひご受講ください。

開講日 (毎週金曜日)	学習テーマ及び内容	講師(敬称略)
1 2020年4月10日	オリエンテーション: 講義の進め方(事務局) 講義「パウロについて」(内藤淳一郎) 講義「コリント書について」(安藤榮二)	安藤榮二・内藤淳一郎
2 4月17日	講義「説教についてⅠ」(私の説教論) ～なぜ信徒が説教を学ぶのか	安藤榮二 (浦和キリスト教会元牧師)
3 4月24日	講義「第一コリント12章12～31節の釈義と黙想」 (説教レジメの制作のために)	安藤榮二 (浦和キリスト教会元牧師)
4 5月1日	・第一コリント12章12～31節釈義レポートの提出(A4、1枚) ・レジメに対する講師コメントと質疑応答	受講生・安藤榮二
5 5月8日	講義「第一コリント12章12～31節の説教をどう描いていくのか」 (「私はこう説教した」、講師説教の提示+加藤常昭説教集から)	安藤榮二 (浦和キリスト教会元牧師)
6 5月15日	・第一コリント12章12～31節の受講生説教の提出(A4、2～3枚) ・説教に対する講師コメントと質疑応答	受講生・安藤榮二
7 5月22日	・ゲスト説教者による第一コリント12章の説教 (私はコリント12章の説教をどのようにして作成したのか)	ゲスト講師・安藤榮二
8 5月29日	講義「説教についてⅡ」(私の説教論) ～なぜ信徒が説教を学ぶのか	内藤淳一郎 (茗荷谷キリスト教会協力牧師)
9 6月5日	講義「第一コリント13章1～11節の釈義と黙想」 (説教レジメの制作のために)	内藤淳一郎 (茗荷谷キリスト教会協力牧師)
10 6月12日	・第一コリント13章1～11の釈義レポートの提出(A4、1枚) ・レジメに対する講師コメントと質疑応答	受講生・内藤淳一郎
11 6月19日	講義「第一コリント13章1～11節の説教をどうえがかくか」 (「私はこう説教した」、講師説教の提示+加藤常昭説教集から)	内藤淳一郎 (茗荷谷キリスト教会協力牧師)
12 6月26日	・第一コリント13章1～11節の受講生説教の提出(A4、2～3枚) ・説教に対する講師コメントと質疑応答	受講生・内藤淳一郎
13 7月3日	・ゲスト説教者による第一コリント13章の説教 (私はコリント13章の説教をどのようにして作成したのか)	ゲスト講師・内藤淳一郎
14 7月10日	第一コリント12章の受講生説教の発表とコメント	安藤榮二 (浦和キリスト教会元牧師)
15 7月17日	第一コリント13章の受講生説教の発表とコメント	内藤淳一郎 (茗荷谷キリスト教会協力牧師)

≪講座の受講概要≫

- ・(単位を必要とする)受講者は2回の説教レジメ、2回の説教原稿を提出する。単位は「説教Ⅱ」4単位ないし「信徒のための説教Ⅱ」4単位とする。
- ・単位を必要としない教会共同受講者は説教提出の義務はない(任意)、ただ説教レジメは学びのために提出する方向で検討をお願いしたい。
- ・注解書は日本基督教団出版局「新共同訳・新約聖書注解」、NTD/ATD刊行会「NTD新約聖書注解・コリント書」から該当箇所をコピーして、受講者全員に事前送付する。
- * 説教レジメ、説教原稿は、発表前日までに、担当教師と神学校事務局に提出され、当日はプリントアウトして全員に配布される。
- * 完成原稿は冊子印刷して受講者全員に配布する。

2020年度前期 連続公開講座「信徒のための説教Ⅱ」申込書

I. 所属(□に印をつけてください)

- ①在学学生 □神学専攻科 □教会教育専攻科 □教会音楽専攻科
□本科 □教会音楽本科 □信徒リーダー養成コース □聴講生
- ②受講料半額対象者 □卒業生 □連盟加盟教会牧師 □後援会会員
□神学校理事 □神学校教師
- ③一般受講者 □一般受講者

II. 参加形態(□に印をつけてください)

- 通学 □ビデオ通信 □ライブ通信(在学学生のみ受付可能) □教会共同受講

※教会共同受講は原則的に“教会でのライブ通信”となります。

□全日程 □部分参加(参加希望回: _____)

※部分参加の方は講義番号をご記入ください。

※ビデオ・ライブ通信による部分参加は受付できません。

III. 申し込み者

(ふりがな)

氏名: _____

郵便番号: 〒 _____ 住所: _____

電話番号: _____ 所属教会: _____

E-mail: _____ ※教会共同受講の場合は、別紙の専用申込書をご利用ください。

＜参加費＞

- ・一般の方(及び聴講生): 受講料 30,000円 ・本科生: 受講料 25,000円
- ※通信受講は+10,000円、部分参加は1講座2,000円です。
(但し、通信による部分参加は受付できません。)
- ※なお、卒業生・後援会会員・連盟加盟教会牧師・理事・教師の受講料は半額(15,000円)です。

＜教会での共同受講の時＞ ※詳細は別紙「教会共同受講のお勧め」をご参照ください。

※後援会割引・教役者割引を活用すれば受講料は次のようになります。

- ー 共同受講者 … 15,000円(受講料半額)
(従来必要としていた共同受講通信費は本年度から免除にします。)
- ー レンタルPC使用の場合 … 年間使用料10,000円(受講者3名以上の場合は免除します。)
* 教会にテレビ及びモニターがない場合は事務局までご相談ください。

※後援会会員になるためには「年会費5,000円」が必要です。

＜是非、教会単位での共同受講をご検討ください。その場合の受講場所は“所属教会”となります。＞

＜お問合せ＞ 〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 東京バプテスト神学校事務局(茗荷谷キリスト教会3階)
TEL: 03-3947-5141 FAX: 03-3947-5145 E-mail: seminary@tbts.jp

＜お申込み締切＞ ・共同受講: 2020年3月20日(金) ・個人: 4月3日(金)

(切り取り線)